

エース水文学 (朝倉書店)
初版第 2 刷および第 3 刷の修正箇所
2007/06/10

47 ページ 10 行目

勾配ができて乱流拡散により大気は乱される → 勾配ができて大気は乱される

49 ページ 12 行目

風速の差 → 水平風速の鉛直方向の差

50 ページ 13 行目

渦粘性係数 → 渦動粘性係数

55 ページ下から 2 行目 2 個目の = を削除する。

$$\bar{u} = \frac{u^*}{k} \ln \frac{z}{z_0} \rightarrow \bar{u} = \frac{u^*}{k} \ln \frac{z}{z_0}$$

61 ページ下 8 行目 分子にある 2 つの ρ のうち、後ろの ρ を削除する。

$$\text{右辺第一項} \quad \frac{\Delta\rho C_p \rho}{\gamma_E} (T_s - T_a) \rightarrow \frac{\Delta\rho C_p}{\gamma_E} (T_s - T_a)$$

78 ページ 17 行目

冷却熱量 → 単位面積当たりの冷却熱量

78 ページ 17、18、20 行目、

$$-W_C \rho_w L_m \rightarrow -W_C L_m$$

78 ページ 21 行目、

$$W_C \rho_w L_m + Q_m \rightarrow W_C L_m + Q_m$$

86 ページ 図 6.5 のキャプション

…および不飽和水係数 → …および不飽和透水係数

99 ページ下 3 行目、101 ページ 8 行目

キネマティックウェーブ → キネマティックショックウェーブ

104 ページ下から 6 行目

s, w は…での流量と流積 → s, w は…での流積と流量

106 ページ 2 行目

収束する円錐面では \rightarrow 収束または発散する円錐面では

122 ページ 2 行目 式(8.26)を以下に修正

$$\frac{\partial Q}{\partial t} + \frac{\partial}{\partial x} \left(\frac{Q^2}{A} \right) + gA \left(\frac{\partial h}{\partial x} - i_0 + I_f \right) = 0$$

122 ページ 4 行目 式(8.27)を以下に修正

$$\frac{\partial h}{\partial x} = i_0 - I_f$$

183 ページ 2 行目の式を以下に修正

$$\frac{d\bar{z}}{ds} = \frac{\partial Z}{\partial x} \frac{d\bar{x}}{ds} + \frac{\partial Z}{\partial y} \frac{d\bar{y}}{ds}$$

183 ページ 3 行目

式(A.3)を代入 \rightarrow 式(A.2), (A.3)を代入

183 ページ 5 行目

式(A.3), (A.5), (A.6)から \rightarrow 式(A.2), (A.3), (A.5), (A.6)から